

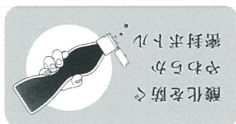
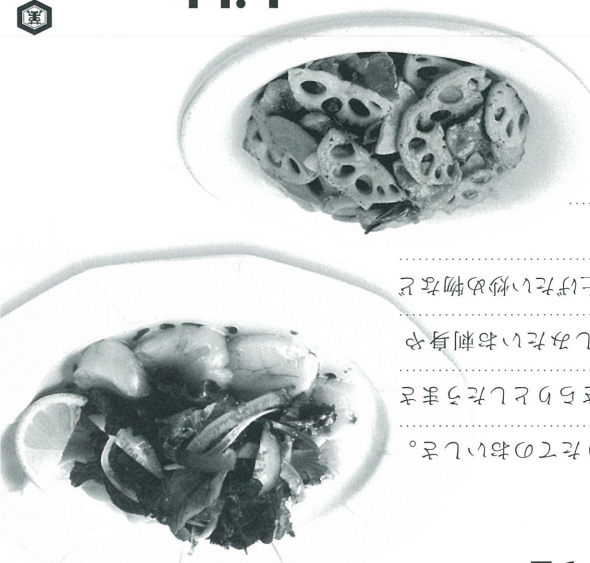
●京の年中行事

1月	初寅 初弘法 初天神	鞍馬寺・その年の初寅の日 終日 東寺・21日 終日 北野天満宮・25日 終日	7月	神輿洗 山鉦巡行 愛宕千日詣	四条大橋・10日午後8時 四条河原町 御池通・17日午前9時 愛宕神社・31日午後9時より翌午前2時
2月	おかめ節分 初午 五大力さん	千本釈迦堂・2日～3日 伏見稲荷大社・その年の2月初午の日 醍醐寺・23日	8月	陶器まつり 灯笼流し 大文字送り火	五条坂・7日～10日 終日 嵐山・16日午後8時頃 16日午後8時点火
3月	嵯峨のおたいまつ ねはん会	清凉寺・15日午後8時 泉涌寺・14日～16日	9月	重陽の節会 石清水祭	嵐山法輪寺・9日午後1時 石清水八幡宮・15日午前1時より
4月	都おどり 上七軒のおどり 十三まいり 御所公開 壬生狂言	祇園歌舞練場・1日～30日 北野会館・15日～25日 法輪寺・虚空蔵菩薩・1日～30日 京都御所・13日～17日(年により異動あり) 壬生寺・21日～29日	10月	宇治の茶まつり 花傘まつり 時代祭 鞍馬の火まつり	宇治橋・第1日曜(終日) 御香宮神社・9日午後7時 平安神宮・22日正午 京都御苑発 鞍馬・22日
5月	加茂競馬 鴨川おどり 葵祭	上賀茂神社・5日午後2時 先斗町歌舞練場・1日～25日 下鴨神社、上賀茂神社・15日	11月	祇園おどり 稲荷火焚祭 お十夜 七五三まいり	祇園会館・1日～10日 伏見稲荷大社・8日午後2時 真如堂・15日午後2時 八坂神社・1日～30日 終日
6月	薪能 竹伐り会	平安神宮・1日～2日午後5時半 鞍馬寺・20日午後2時	12月	顔見せ 北野献茶祭 おけら詣り	南座・1日～26日午前、午後の2回開演 北野天満宮・1日午前10時半 八坂神社・31日夜

※主催の都合により若干変更されることがあります。

おいしい品揃えを
kikkoman

【お問い合わせ】キッコーマンお客様相談センター ☎ 0120-120358 (月～金 9:00～17:00 祝日を除く) 生しょうゆ 検査



幅広くお使いいただけます。

「加熱処理」をしない、しぼりたてのおいしさ。
生ならではの鮮やかな色とさらりとしたうまさ
が特長です。素材の味を楽しみたいお刺身や
カルパッチョ、香ばしく仕上げたい炒め物など



キッコーマン「いつでも新鮮」シリーズ



国宝特別名勝

大仙院

禅

The Rock Garden of
Daisen-In
Temple

京都市北区紫野大徳寺 塔頭 TEL 491-8846
市バス:大徳寺前下車

大仙院

●概要

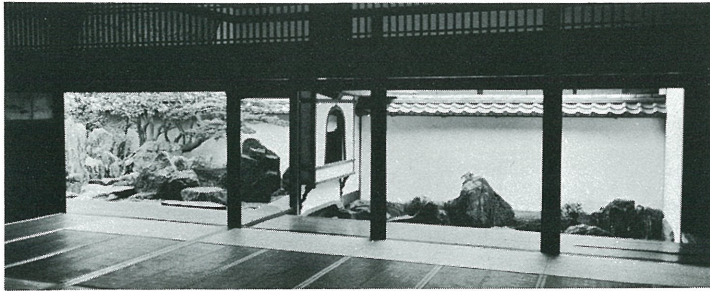
大徳寺北派本庵大仙院は、永正6年(1509)正法大聖国師古岳宗亘禪師が開かれた数ある大徳寺塔頭中でも特に由緒ある名刹であり、室町時代の代表的な枯山水庭園及び方丈建築を有している。襖絵もまた相阿彌(弥)、元信、之信と貴重なものばかりである。大仙院歴代中、三世古溪和尚は、千利休の首を加茂の河原から持ち帰ったことで、七世沢庵和尚は宮本武蔵との関係で有名である。また利休を中心とする茶人の系譜は大仙院歴代と密接な関係があり、とりわけ利休と大仙院との関係は種々の逸話によって語りつがれている。

●庭園〔特別名勝および史蹟〕

作者：大聖国師（大仙院開祖 古岳宗亘禪師）

作庭年代：永正6年(1509)約490年前(応仁の乱直後の作庭である)

形態：鶴島と亀島の間に蓬莱山があり、そこから滝が流れ落ちる。石橋の下をくぐり透渡殿の下をくぐった水は一旦堰を落ちて大河となり、石の宝船が浮び小亀の泳ぐ景色を見せて遂に方丈南側の大海に至る。同じ蓬莱山の滝の水が亀島の前を通過して西行すれば方丈北の中海に至る。



本堂内より枯山水を望む

枯山水の成立

●**禅宗の影響**：鎌倉初期に日本に渡来した禅宗の思想が作庭に具体的影響を持ってきたのは室町時代初期頃からである。作庭が禅思想の影響を受けると、庭園の形態が極めて抽象的となる。例えば白砂を敷いて水流を表現する。石を立てて滝の音を現わす。大仙院庭園は中期のもので極めて傑作である。

●**水墨山水画の影響**：同じく禅思想の影響を絵画が受けると破墨山水の如き象徴的表現となる。しかし逆に室町時代の絵画の主流であるこの山水画の手法が庭園に影響を与えたとも言える。

●**政治的・経済的影響**：室町時代の文化の担い手であった足利幕府を中心とする貴族・大名等の指導階級が室町中期近くなると、いわゆる下剋上と言われるように、政治的に従来の権威を失墜してくると同時に経済的にも逼迫してくる。これに対応して従来のように規模壮大にして自然のままをとり入れた庭園（例一大覚寺の嵯峨離宮の庭園・西芳寺の苔庭・金閣寺の庭園等）を造営することが困難となる。

●建築・襖絵

国宝大仙院の方丈は室町時代のものでわが国最古の方丈建築として貴重なものである。

北の書院拾雲軒も沢庵が宮本武蔵に剣道の極意を授けた処として喧伝されているが室町時代の代表的書院建築である。

襖絵には相阿弥(～1525)の瀟湘八景・狩野元信(1476～1559)の花鳥図・同之信(1513～1575)の四季耕作図と何れも室町期障壁画中の名作として世界美術史上欠く事の出来ない存在である。

現在、重要文化財に指定されて居る。

This garden was made about 490 years ago (1509A.D.) by Kogaku-Zenji when he founded the temple.

As one of the most famous Zen abbots, he intended to express here the Spirit of Zen through the media of only rocks and sand.

Since ancient times, the Japanese have loved Nature profoundly and desired to live according to Nature.

But in such a narrow space (about 100m²) it was impossible to realize Nature in details. However Kogaku-Zenji was able to express the abstracted essence of Nature by means of rocks and sand. If you look at this garden after seeing the landscape painted by Soami on the sliding doors, you may also find out that such a type of garden is nothing but three-dimensional reproduction of monochrome landscape paintings.

If you would like to be served green tea while looking at this garden, please try to say "O-chao kudasai," and you will have another unforgettable memory.

The Rock Garden of Daisen-In Temple 大仙院



枯山水



狩野之信<四季耕作の図>部分